

新基地建設反対名護共同センターニュース

「新基地建設の強行は受け入れられない」

来年1月23日の名護市長選に向け「岸本ようへいを支える女性集会」が12日、名護市内で行われ、岸本さんのために早く何かしたかった」「なんとしても岸本さんを勝利させたい」という市民70人余りが参加しました。岸本洋平後援会長の稲嶺進・前名護市長が挨拶し、翁長久美子名護市議、野党市議夫人など多くの女性の参加で盛り上がりました。

岸本洋平氏が「亡き父・建男市長が突きつけた7つの条件がなかったように新基地建設が強行される現状は受け入れられません」と基地に反対し、辺野古・大浦湾の海を守ることを誓いました。妻・聖子さんや母親で故・岸本市長夫人の能子(たかこ)さんも参加。会場は華やかでワクワクする雰囲気の中、「市長選で必ず岸本ようへいさんを勝利させよう」と誓い合いました。



岸本能子さん 稲嶺進前名護市長 岸本ようへい氏と妻の聖子さん

岸本ようへいを支える女性集会に70人余

#気候正義、遺骨残る南部の土砂採取NO! 宗教者らの第35回沖縄平和行進が出発



上の写真は出発集会の様子。左端は瀬長県議、その右は黒柳上人。左写真は出発直後、国際通りに向かう平和行進。

日本山妙法寺などの宗教者、気候温暖化に反対する活動家などが16日、「#気候正義、遺骨残る地の土砂採取NO!」のスローガンを掲げ「沖縄戦慰霊・第35回沖縄平和行進」を開始しました。

那覇市役所前を出発集会には市民約30人が参加しました。日本山妙法寺の黒柳堯憲上人やカトリック教の信徒、ガマフヤーの具志堅隆松さん、若い女性の気候活動家などが発言。遺骨混じりの南部土砂を辺野古に埋め立てることや石炭火力と原発に固執し、気候変動対策に消極的な日本政府を厳しく批判しました。

南部土砂採取の計画自体が犯罪的

具志堅さんは「政府は辺野古に南部の土を使用することはまだ決まっていないというが、その計画を立てた時点ですでに犯罪的だ」と喝破しました。日本共産党の瀬長美佐雄県議が連帯の挨拶をしました。

同平和行進は16日から24日まで県内の主要米軍基地のゲート前やお寺などを回り、最終日は伊江島に渡り、村内を行進しわびあいの里を訪問する予定です。

辺野古住民訴訟が結審 判決は来年4月26日



写真上=公判後の集会。右写真=開廷前の弁護団と原告の金城武政さん(左端)

辺野古新基地建設をめぐる国土交通省が沖縄県による埋立承認撤回処分を取り消したことは違法だとして、辺野古周辺の住民が国に採決の取り消しを求めた訴訟の第13回口頭弁論が那覇地裁(福渡裕貴裁判長)で開かれました。住民側は行政法学者らの承認を請求しましたが地裁は採用せず結審しました。判決日は来年4月26日となりました。

公判後、裁判を支援する住民ら約30人が裁判所前の公園で集会を開き、「どんな判決が出ても、新基地建設を阻止するまでたたかおう」と決意を新たにしました。

全国の皆さんと名護市長選勝利へ! オンラインで日本平和大会に参加

2021年日本平和大会が20日、オンラインで開催されました。名護共同センターの大型画面で名護平和委員会の福地信昭会長、元県議の具志堅徹氏が視聴しました(写真)。全体集会で名護市長選に向けた特別企画があり稲嶺進前名護市長、岸本洋平市長予定候補のメッセージも上映されました。福地さんは、「全国で日米合同訓練が行われている。戦争につながるすべてに反対の声をあげる決意を新たにしました。名護市長選では全国のご支援も得て必ず勝利します」との感想文を寄せました。

